

米国主催多国間演習ヴァリアント・シールド24への参加について

【演習参加の目的】

自衛隊の戦術技量の向上を図るとともに、同盟国及び同志国との連携強化により、インド太平洋地域における抑止力・対処力を強化するもの。

【演習の沿革】

「ヴァリアント・シールド」は、2006年から隔年で米国が実施している統合演習（実動演習）です。米国からの招待を受け、今回初めて自衛隊及び諸外国が本演習に参加します。

【演習の実施場所】

演習はグアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

自衛隊は主に日本周辺海空域及び日本国内の自衛隊施設、在日米軍施設等において、各種の訓練を実施します。

米国以外の参加国の日本への来訪は予定されていません。

【演習の実施期間】

令和6年6月7日（金）～6月18日（火）の間（前後に準備期間及び撤収期間あり）で予定しています。夜間及び土日を含む計画も一部ございますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

訓練実施場所（日本国内）

➤ 米軍戦闘機等展開訓練（八戸、松島）



➤ 共同患者後送訓練（新田原、厚木、横須賀）



➤ 共同統合対艦戦闘訓練（相浦、国分、奄美等）



➤ 共同空挺降下訓練（北海道大演習場）



➤ 共同対航空戦闘訓練（八戸、松島、襟裳等）



➤ 共同滑走路復旧訓練（硫黄島）



※写真はイメージです

米国主催多国間演習ヴァリアント・シールド24における 訓練実施場所について

同演習においては、主に以下の施設等において訓練を行う予定です。

- ① 米軍戦闘機等展開
八戸航空基地、松島基地
- ② 共同対航空戦闘
八戸航空基地、松島基地、襟裳分屯基地
- ③ 共同統合対艦戦闘
相浦駐屯地、国分駐屯地、奄美駐屯地・瀬戸内分屯地
- ④ 共同空挺降下
横田基地（搭乗）～北海道大演習場（降下）、東千歳駐屯地
- ⑤ 共同滑走路復旧
硫黄島航空基地
- ⑥ 共同患者後送
米軍艦艇／四国沖 ～ 海自救難艇（US-2）～ 新田原基地 ～ 空自輸送機（C-130H）～
海自厚木航空基地 ～ 陸自ヘリ（UH-1J）～ 横須賀米海軍病院

共同空挺降下

- 陸上自衛隊の空挺団が米陸軍歩兵部隊とともに、米軍横田基地から米空軍の航空機によって北上し、北海道大演習場上空からの空挺降下を実施します。
- 降着後、陸上自衛隊普通科連隊を対抗部隊として、日米共同による地上戦闘訓練を実施します。

【期 間】

令和6年6月15日(土)・予備日16日(日)

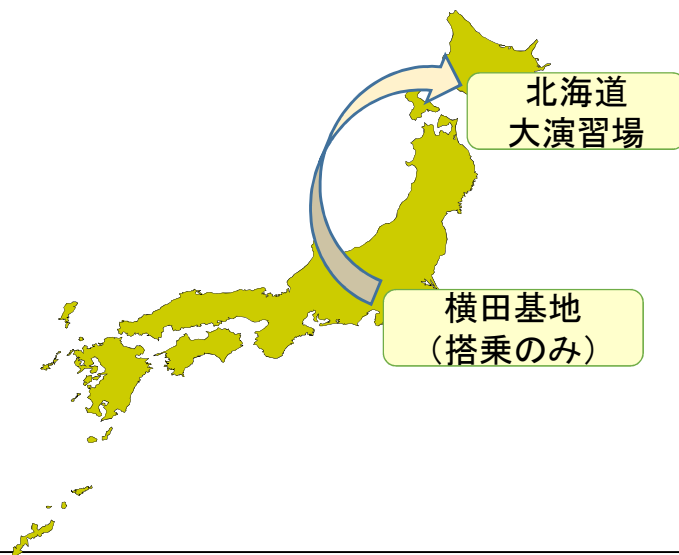
【参加部隊】

陸上自衛隊 空挺団 約60名、普通科連隊 約30名

米 軍 陸軍空挺部隊 約10名、空軍輸送機(C-130) × 3機

※気象状況により、陸自CH-47 × 3機によるヘリボン訓練に変更

訓練予定場所



訓練イメージ



共同による空挺降下



空挺降下後の地上戦闘